

6月のどきどき

自分の個性を出した作品

6月2日から13日まで早来雪だるま郵便局の一室で更科孝子さんが77歳で初めて陶芸の個展に挑戦。茶碗や花びん、小物など約150点が出品されました。

更科さんは陶芸歴20年のベテランで、10年ほど前に自宅に窯を設け制作に打ち込み、はやきたかしわまつりで展示販売もしています。「会の中に指導者は



中野末吉さんの写真展



個展を開いた更科さん(写真内右)

作り始めて隣に座った人が自分たちの師匠ですね。会員の皆さんは自分の個性に合った作品をめざして専念しています」と語り、今回は渋めで落ち着いた色合いの湯のみや皿などが数多く展示されていました。その後、13日から27日まで町内のアマチュア写真家の中野末吉さんが写真展を行いました。

全道大会で5位入賞

6月8日、第28回北海道少年少女空手道錬成大会が千歳市開基記念武道館で開催され、小学

3年生男子組手の部で及川洵成君(追分小)

がトーナメント戦で5位入賞しました。

「日ごろの練習でも積極的に攻める選手ですね」と話す指導者の高橋

剛師範は及川選手の才能と熱心さを評価しています。

競技が終わり32人の参加選手中5番目の好成绩よりメダルを取れ

なかつた悔しさの方が強く、来年に向けての闘志をみなぎらせています。

た。

た。

た。

た。



災害時の協力体制を定める

世界各地で自然災害が発生し、日本国内でも大規模な地震が起きていますが、6月16日に役場早来庁舎において、災害発生時における安平町内の郵便局(早来、追分、安平、遠浅)との安平町の協力に関する協定が結ばれました。これにより、町は災害時に郵便局の持つネットワークや車両を借りることができるようになりました。



町内の郵便局長から協定書を受け取る瀧町長

追高体育館に中学生剣士が集合

6月1日、追高体育館で第19回追分剣道大会が開催され、近隣市町をはじめ壮瞥町や浦河町などから男子29チーム、女子6チーム、総勢193名の中学生が出場しました。午前中に予選リーグ、午後から決勝トーナメント戦が行われ、結果は次ぎのとおりです。

団体戦男子の部、優勝は新十津川中学校Aチーム、準優勝は苦小牧如水館Aチーム、第3位は三石翔武館と岩見沢光陵中学校Aチーム。なお、追分中学校は、強豪森剣道スポーツ少年団に勝ちましたが、その後、優勝した新十津川中学校Aチームに敗退しベスト8でした。女子の部は、優勝は森剣道スポーツ少年団Aチーム、準優勝は岩見沢光陵中学校Aチーム、第3位は岩見沢光陵中学校Bチームと苦小牧真義館でした。

